

羽島学園・いしだ荘 地域連携推進会議 議事録

会議日時	令和8年10月3日（土） 9：30～10：15 羽島学園視察、10：20～10：50 いしだ荘視察 10：55～12：00 会議
会議場所	羽島学園会議室
出席者	利用者：2名、保護者：2名、地域関係者：1名、有識者：1名 羽島学園：施設長1名、職員1名、いしだ荘：施設長1名・職員2名
会議目的 会議内容	①いしだ荘・羽島学園の近況と前回会議で頂いた課題の取り組み状況 ②施設視察所見 ③意見交換 ④その他
議事の経過 質疑応答	【① いしだ荘・羽島学園の近況と前回会議で頂いた課題の取り組み状況】 ◆羽島学園 *羽島学園では、業務改善計画に基づいて虐待防止研修、個人情報保護研修等を実施中。 *年間を通じて虐待防止、身体拘束、ハラスメントの研修等の取り組みに力を入れている。 *施設整備においては、職員駐車場の整備、作業場の空調機入替工事等を実施する。 *前回ご意見を頂いた食堂前のホールの給湯蛇口の設置は、未実施であるが、簡易なもので改善を図る検討をしている。 *本年度後期には男子寮への浴室設置について、設計図面の作成を依頼する予定。また、危険物タンクの使用期限も近くなっているため、将来的に給湯方法の見直しも検討する。 *地域への情報発信をおこない、ボランティアを募るなど、地域の方達との交流の再開・活性化に努めるという事柄については、新規のボランティア登録者はなかったが、以前交流のあったキッズコンサートを9月12日に盛大に開催した。 *施設の無料開放の件は、中島中学校生徒の保護者から体育館利用に関する問合せを頂いたが、現地を見て、広さが使途と合わなかったため、利用には至らなかった。 *「羽島学園マルシェ」は、ご提案のとおり昨年より「いしだマルシェ」に改称し、イベント用の看板を施設東側、北側の道路から目につく場所に設置した。本年は10月10日に開催する。 *「いしだマルシェ」では、市社会福祉協議会の協力もいただき、赤い羽根バッジ募金のガチャガチャコーナーを設置し、好評を得た。バッジ募金のガチャガチャは本年も実施する。 ◆いしだ荘 *以前から問題となっていた鳥害（鳩対策）として防護ネット設置を図り、清掃機会を増やして各居室のベランダがきれいになった。 *脱衣室にエアコンを整備したことで入浴前後の不快感が大きく軽減され、高齢の利用者にもより安心して入浴していただけるようになった。 *令和7年度より羽島市民病院との間で協力医療機関協定を締結し、新興感染症発生時や夜間休日等の状態急変時の対応等が明確となり、早期の対応を図る体制整備をおこなうことができている。 *訪問看護ステーションとの業務委託契約を締結し、毎月の定期訪問により利用者の疾

病の早期発見や適切な対応を図る体制整備をおこなった。

- *訪問歯科にも定期的に来荘いただき、口腔内メンテや必要な治療につなげた。
- *感染症やてんかん発作などのリスクを想定した研修を実施し、支援の質の向上を図った。
- *担当者別のミーティング、世話人会議を定期的におこない、情報共有や支援方法の統一を図ることができた。
- *はしまふるさと福祉村の活動や下中町ふれあい夏まつり、地域清掃活動等に参加し、積極的に地域交流活動をおこなった。地域の方々に顔を覚えていただける良い機会となった。
- *前回会議では、食事づくりなど、利用者が職員と一緒に作業できないのかといったご意見を頂戴しました。コロナ禍以前は積極的におこなっていた経緯もあるが、現時点では利用者のADLの低下などもあり、直接的な調理作業はおこなっていないが、サラダの盛り付けや配膳など、できることを一緒におこなっていただいている。
- *前回会議で頂戴した居室環境の整備においては、老朽化しているエアコンの交換を行う予定。
- *前回会議で頂戴した鳥害（鳩の侵入や糞尿対策）は実施済み。改善を図れている。

【② 施設視察所見・意見交換】

- *会議を実施する季節も変えながら、3度目の会議なので利用者みなさんの状況がよくわかってきた。以前、清掃状況等について指摘したが、利用者にとって衛生・安全が確保され、鳥害や樹木の伐採などもおこなわれ、環境は改善されている。
- *入居者の方達とゆっくり話をした。障害特性について配慮の必要な方もいるが、皆さん自由に、自分らしく生活できている。介護が必要となっている方がいたり、利用者同士で関わるのが難しくなっている方も見受けられた。
- *ある入居者に「他の人と話はしますか？」と伺ったところ、「静かな方が良い」という方もいた。人間関係や同室者の組み合わせなど、よく配慮されている。
- *特定の職員に対して発言がしにくいという方もいた。利用者同士だけではなく、職員と利用者の人間関係にも工夫が必要。
- *羽島学園の作業棟を見学した。機能回復等、今後を意識してデイサービスに近いような、安心して過ごすことができるよう取り組まれている。
- *介護が必要な方も一部いて、職員にはそのようなスキルも求められる。良い支援をしてもらうことが利用者の生活向上につながると思う。
- *地域の中で羽島学園に対する古いイメージを持っている方達に対して現在の取り組みを「はしまルシェ」などで発信し、知っていただくと良いのではないだろうか。また、来週開催される「いしだマルシェ」がきっかけとなって学園のことをより深く知ってもらえると良いのではないか。
- *熊本、千葉などで災害が起きている。災害が発生した場合、水害などの場合の対応はどのようなになっているか。
- *グループホームにおいては、年2回避難訓練を実施している。ここは水害の可能性がある地域のため、地震、火災だけではなく、水害を想定した避難訓練も実施している。地震・火災の場合は外へ避難、水害の場合は垂直避難を基本として訓練を実施しているが、利用者は訓練時にやはり混乱した。いざという時に落ち着いて行動できるよう、年2回に限らず、必要に応じて訓練を実施していきたい。

- *羽島学園は水害の場合、垂直避難ができないため、水害時はいしだ荘または防災センターへ避難することとなる。先日の台風の際には施設長が待機し、対応した。
- *羽島学園も避難訓練を実施している。当施設は福祉避難所となっており、知的障害者支援協会から得た情報によるとそのような場合、他の避難所よりも比較的早期に生活用品が届くようになるとのこと。業務継続計画（BCP）と避難計画は職員にもよく確認させて、災害に備えておくようにする。
- *利用者によっては落ち着いた行動が難しい方もいると思う。きちんとした対応をはかっていただきたい。
- *防災や災害時の話は保護者会でも心配している方もいる。離れたところにすんでいるのでやはり気になる。日頃からの訓練は大事だと思う。継続していただきたい。
- *保護者役員会で災害時のことについて話をするなかで、どのような対策を講じているのか、災害時にどう対応するのか、ということが保護者に非常時の取り組みが理解できる資料を提供して欲しいとお願いしてある。
- *次回、保護者会役員会の際に提供させていただく。
- *利用者の方達は生活で困っていることはありませんか。
- *落ち着いて生活できている。今は糸巻きの作業や風呂掃除などががんばっている。困ったことがあるときには職員に相談している。
- *外出で喫茶店に行ける日が決まっている。日曜日でも連れて行ってもらえる。昼間はまさき園で体操などをおこなっているが、風呂に入る時間が早い。今、腰が痛くて壁に掴まる取手があるとありがたい。自販機で好きな飲み物が売り切れていることが多い。
- *いしだ荘でも高齢化が進んでいる。以前は自力で通勤、自力で生活・調理などしていたが、以前ほど活動の広がりを作れていない。利用者の体力も落ちている。職員には多様なスキルが求められており、介護の方法を学ぶことが大切だと考えている。介護技法を学ぶ研修に力を入れて取り組みたい。
- *羽島学園は手摺が増設されている。いしだ荘もセンサーライト等整備されている。それぞれに高齢化や重度化の対策も講じられているが、ケアマネなど、外部の方達の意見も伺う機会を設けてみてはどうか。
- *先ほどの話に出たとおり、障害者施設でありながら、高齢者施設のような介護スキルも職員に必要となっている。新たに採用する人たちにも良いイメージを持たせ、職員が充足していくと良いと思っている。
- *利用者の高齢化、重度化が進むなか、職員に求められるスキルは本当に多様化している。研修していくことが重要。ケアマネや訪問看護師など、外部の方達も入ってくださっている。いろいろな意見やアイデアを伺って支援や利用者の生活向上に役立てていきたい。
- *入浴時に薬を塗布する利用者が多い。少人数の職員で処置するため、職員の負担が大きくなっている。支援や処置もだが、可能な限り利用者と話ができることが大切。
- *羽島学園は入所施設のため、外部からケアマネが入ることは無いが、訪問歯科が出入りしており、他からの助言も増えている。職員にとって介助・介護の取り組みが増えている。職員の困り事として個に合わせた支援、動けない時のもどかしさがある。利用者の困りごとに職員が寄り添えるような仕組みと意識づけが大切だと考える。
- *毎月、セルフチェックを実施している。「疲れている」という項目にチェックを入れる職員が多い。過度な負担にならないよう、職員に長く働いてもらえるように考えていかないといけない。

	*いしだ荘ではポータブルトイレを居室に配置しているが、洗浄する場所が無い。高齢化に対応できるよう、施設整備を図らないといけないと考えている。 *施設の資金だけで整備が困難な場合、赤い羽根募金等を利用して利用者のためになることを行うと良い。利用者とのゆとりある時間がとれて、職員の負担を軽減できるよう、できる限りの方策を検討し、高齢化への対応が難しい場合、高齢者のデイサービスなど外部の力も活用して対応を図ることも選択肢としても良いのではないかな。 *保護者の面会が多いのか。面会の際に家族に愚痴を言ったりできているか。 *原則として面会に制限は無いので、ふらっと来ていただいても大丈夫。いしだ荘の場合は居室カリビングでの面会となるため、愚痴がいえる環境かといわれるとそうでもない場合もある。他者に話を聞かれない配慮も必要かと思う。 *今回頂戴したご意見は今後の事業運営や地域連携に役立てていく。
決定事項 次回開催予定	*災害時の対応について保護者への説明資料を次回保護者会（役員会）で提供する。 *次回会議は令和9年度、冬の時期に開催する。